

平成20年度 第1回松山地域協議会会議録（概要）

日 時 平成20年4月23日（水） 13:30～16:20

会 場 松山総合支所 講堂

◎出席者

1号委員	齋藤 勝	富樫 茂	阿部 茂	寒河江 久也	小田 和夫
	齋藤 尚	今田 充代			
2号委員	山中 俊	土田 迪子	齋藤 薫		
3号委員	遠田 聡	佐藤 洋子	木村 美津枝		

松山総合支所 支所長 後藤 吉史 地域振興課長 須貝 彰
市民福祉課長 大場 昭一 建設産業課農林主査 水戸 健
教育振興室長 難波 富也
地域振興課 課長補佐兼地域振興係長 阿部 みえ
主任 佐藤 伸 主事 乙坂 哲也

◎欠席者

1号委員 佐藤 ゆき子

◎傍聴人 なし

◎議事日程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 会議録署名委員の選出
- 4 報告事項
 - (1) 松山タウンセンター整備事業（総合支所整備計画案）について
 - (2) 地域協議会会長・副会長の市長報告への対応状況について
 - (3) 前回の懸案事項について
 - (4) 地域コミュニティについて
 - (5) その他
- 5 意見交換
 - (1) 地域課題について
 - (2) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

1 開会・・・進行を務める地域振興課長が開会する。

2 あいさつ

(会長)

20年度第1回目の地域協議会に出席いただきありがとうございます。

今日は、19年度の総括という意味で市長と面談した資料や前回の課題の積み残し等についても含めながらより良い会議をしていきたいと思う。皆様の忌憚のない意見をお願いしたい。

(支所長)

松山総合支所では「賑わいづくり」が今年度の大きなテーマである。地域振興における環境整備の一環としてタウンセンター構想があるが、松山総合支所の移転・増改築、統合保育園の整備を具体的に進めていかなければならない時期にきているという認識をしている。タウンセンター構想は、経済状況が厳しい中、時間はかかると思うが産業振興につながるひとつの柱になるのではないかと期待している。更には、朝日園移転後の歴史公園の再整備、町民プールの跡地利用、眺海の森に関しても地域課題が山積している。そういった中で地域の歴史文化、自然環境を生かした地域づくりの方向付けを進めていきたい。

また、コミュニティ振興組織に代表される形となるが、行政と市民の協働による地域づくりや旧松山町時代に自主防災組織を設立したが、安全・安心の地域づくりについても一つの大きな柱になると考えている。

今年度から松山総合支所の体制についても建設産業課となり課が1つ減少したが、「にぎわいづくり」という観点から地域振興のための環境整備、行政と市民の協働による地域づくり、安全・安心の地域づくりという3点を掲げながら、取り組んでいきたいと考えている。

地域協議会の場で議論し、地域協議会として一定の方向付けができるところまで進んでいただけるとありがたい。

3 議長及び議事録署名委員選出

○地域振興課長 会議録署名人の選出について協議会施行規則第5条により委員1名を選出する今回の会議録署名人を齋藤勝委員にお願いしたい。

これより会議の議長を協議会設置条例第6条第2項により山中会長にお願いする。

4 報告事項

(1) 松山タウンセンター整備事業（総合支所整備計画案）について・・・地域振興課長説明

○支所長 5月下旬が最終設計となっている。皆さんから喜んでいただける施設にしたいと考えているのでご意見等あればいただきたい。

○山中会長 山田一号線沿いの歩道の部分はどうなるのか。

○地域振興課長 駐車スペースとはイメージを変え、広場にふさわしい路面で考えている。

- 山中会長 総合支所の表示看板はどこに設置するのか。
- 支所長 山田1号線の道路際と考えている。
- 阿部委員 トイレは既存のものを使うのか。
- 地域振興課長 トイレは2箇所になる。管理部門にあるトイレは既存のものを利用し、ロビーに設置するトイレは新設となる。
- 阿部委員 既存のものを使うと、男子ロッカー室と男子トイレの間に女子トイレが挟まっているというような形になり間に合わせに思える。行き当たりばつりの計画という感じがする。
- 支所長 どういった部分が間に合わせに感じるのか疑問だが、休日の窓口受付を考えた場合、男子休憩室と男子トイレは近くにある必要がある。男子ロッカー室の隣の女子トイレは職員用のもので、壁で仕切られており男子休養室とは向かい合わないようになっている。理にかなった構造であると思っているが、女子ロッカーと休憩室が一緒の方がよいのか。
- 阿部委員 普通は女子ロッカー室の隣に女子トイレがあつて、男子ロッカー室の隣に男子トイレがあるのだと思うが、既存のものを使うのでこのような形になるのではないのか。
- 小田委員 窓についてだが、外観の図面には山田1号線側に窓が描かれているようだが、実際の図面を見ると入っていない。どちらが本当なのか。
- 支所長 外観図面では窓ガラスになっていて外から仕事をしているところが良く見えるような設計になっている。熱効率を含め開放的な構造で考えていく。
- 小田委員 現在、瓦となっているが、それにあつたものにするためにも木造で化粧直しはできないのか。
- 支所長 基本的にはなるべく木造のものを使う外観にするよう配慮したいと考えている。外壁の部分は全体的に見直していく。
- 齋藤(尚)委員 2階に女子ロッカーはあるがトイレが無い。1階のロビー部分にあるトイレは男子用なのか女子用なのか。
- 支所長 2階にはトイレのスペースが取れなかった。ロビーのトイレは多目的トイレでいわゆる身障者トイレと、その左側に男子、女子トイレを予定している。
- 木村委員 西向きの構造だが、冷暖房は完備されているのか。
- 支所長 現在の支所には冷房がないので、その課題を解決する意味でも両方を設置する。熱効率の良い形で進めていきたい。
- 齋藤(尚)委員 1階のローカウンターが設置される執務室はどういう部門の執務室になるか。
- 支所長 右側が地域振興課と建設産業課、左側が市民福祉課を想定している。
- 富樫委員 松山らしい外観を表したとあつたが具体的にはどの部分なのか。旧町時代にホープ計画で町並みを指導してきたわけだが、その辺も加味されているのか。
- 支所長 最終的な外観についてはまだ決定していない。ただ、考え方として松嶺公民館、松山駐在所と比較して、支所の建物だけが浮き上がることがないようにバランスを考えた外観にしたいと考えている。ホープ計画についての考え方も新市に引き継がれているのでその考え方を踏まえ設計業者との協議を進めているところである。
- 富樫委員 抽象的なことではなく、具体的にどこなのかということである。
- 支所長 具体的な設計ができていないため、皆様にお示しできる資料がなく説明できる段階では

ない。考え方について設計業者と話していく。どんなものが良いか具体的に意見をお聞きしたい。

- 山中会長 2階には女子トイレはいらないということなのか。
- 支所長 2階の会議室は職員の会議のみ想定している。外部から招く会議は改善センター等を想定しているためトイレの必要性は低いと考える。
- 土田副会長 職員は何人くらい想定しているのか。また、女性職員は何人くらいいるのか。
- 支所長 職員数は30～40名、女性職員は13名を想定している。
- 齋藤（勝）委員 駐車スペースはドアを開けたときに風であおられても、ぶつからないような幅を考慮しているのか。
- 支所長 現在の支所の駐車場の区切りよりは広く取っていると聞いている。

(2) 地域協議会会長・副会長の市長報告への対応状況について → 地域振興課長説明

- 山中会長 先ほどの話にもあったが、コミュニティ振興組織の立上げを平成21年度に予定されているようだ。4月1日からすぐに切り替えできるかについては各地域の実情もあると思うが、今後、自治会の果たす役割がかなり多くなるのではないかなと考える。
- 富樫委員 この報告は、今年度も同じような形で行っていくのか。これまでは地域協議会は結論を出す会議でないということで話しっぱなしだった。また、市長への報告ということであれば、本来ならば一度この協議会で事前に話題にした上で項目を決定すべきではなかったか。
- 山中会長 これまでの懸案事項はいろいろあったが、時間の都合上すべてを話すまでには至らなかった。
- 富樫委員 この報告は大変良い取組だと感じた。できれば年2回くらい市長に報告する機会をとっていただきたい。
- 山中会長 今回は、事前に協議会を開催する日程調整ができなかったが、今後は市長に報告する機会があれば、一度、協議会で協議したものを報告するようしていきたい。事務局もその方向で進めていくことでお願いしたい。
- 齋藤（尚）委員 もう一度、地域協議会がどうあるべきかについて協議していかなければならないのではないかと。地域協議会には、住民の声を市長に伝える目的があると思うが、もっとうまく伝わる良い方法はないのか考えるべきである。
- 山中会長 地域協議会設置規則にある役割をこれまで果たしてこなかったところもある。委員それぞれがわからない分野について意見を述べることは難しいことで、そういった面では、物足りなさもあったように感じる。地域の意見を市に伝えることが私たちの役割と考えているので、個別的なものにこだわらず、議会で議論するような地域の進む方向性についても地域協議会で議論していくべきではないかとも思う。もっと広い視野で考えることが必要である。
- 齋藤（尚）委員 我々は、この地域のほんの一部分のことしか話し合っていないのではないかと。部会方式で協議すればもっと広い視野での話し合いができるのではないかと。生涯学習についても話し合ったことがないし、産業関係でも地域をどう高めていくかなど検討していければ、この協議会の重要性が増すのではないかと思う。協議会を各分野に分けて突っ込んだ協議

をし、市のほうに伝えていくようにできないか。

- 木村委員 地域づくりに市民の意見を反映できるプロジェクトチームのようなものとして、現在、歴史公園再整備検討委員会ができていますが、地域協議会の委員だけでなく、いろいろな分野の方々が委員になっている。そのような形で専門的な人を巻き込んでいければもっと良い協議ができると思う。
- 山中会長 この地域協議会は、合併前の振興審議会のような役割もあるものだと思うが、今の状態だとなかなか焦点を絞りきれない。
- 富樫委員 我々委員は酒田市の基本計画を基に動いているのだと思っている。支所に地域づくりという部署を作り、そこで検討していかなければならないのではないかと。そうしなければ具体的な話はできないと思う。
- 小田委員 コミュニティの振興組織については、合併協議の中で推進を図るという市のスタンスになっていたような気がする。地域協議会は地域の課題を市に伝えるという役目を担い当面の間、設置されるのだと思っている。コミュニティ組織ができると、今度はそこで地域の課題を解決していくというような形になると思う。

資料「松山地域協議会の目的と役割」について → 後藤支所長説明

- 支所長 地域協議会を設立するときにはいろいろな議論があったかと思う。目的としては①地域住民の意見を行政に反映させる②地域住民と行政の連携と協働を推進する、そしてコミュニティ組織の育成強化を図るということである。これをどういう手段で進めるかについて、地域協議会の役割は大きく2つあると考えている。①市長の諮問に応じ審議し、意見を述べる②協議し、市長その他の市の機関に意見を述べる。これは委員として意見を述べるのではなく、地域協議会として意見を述べていくものだと考えている。その中で意見集約は当然あるべきで、この地域協議会でプロジェクトチームを作って意見をまとめたかどうかという意見をいただいたが、検討させていただくということで回答している。また、一問一答式で答えていく進め方に対する課題も考えている。地域協議会の役割について委員の方々も悩んでいることは私たちが承知している。地域の方が地域協議会に求めている部分もある。決まった形がないというのが地域協議会であると思うので、皆さんと共に考えていきたい。

- (3) 前回の懸案事項について → 地域振興課分：須貝課長説明
教育振興室分：難波室長説明

15：10 休憩

15：20 再開

- (4) 地域コミュニティについて → 須貝課長説明

(5) その他

【意見交換】

(1) 地域課題について

「眺海の森」周辺の山小屋建設について → 須貝課長説明

- 山中会長 地区は散在しているのか。
- 地域振興課長 地図にあるように早坂線に集中している。
- 寒河江委員 所有者は旧松山町内の方か。
- 地域振興課長 ほとんどが旧町内の方だが、一部旧酒田市内の方もいる。
- 山中会長 早坂線の下の方に別荘を建てるには大変良い場所がある。「さんさん」が建設された頃から、例えば屋根の色などの規制をしなければならないのではないかと話に出ていた。このまま放置することは環境衛生面など様々な問題が生じてくることも考えられる。全く禁止することはどうかと思うが、例えば、一区画を分譲するなどある程度の規制は必要であると考える。
- 市民福祉課長 私も一度全ての建物を回ってみた。トイレも建物の内外と様々ようだが、日本では竪穴式のもの禁止されているため、所有者はバイオトイレや簡易式トイレを設置するなど衛生面については気にしているようだ。
- 齋藤（勝）委員 別荘のようなものは勝手に建てていいものか。
- 地域振興課長 関係課からの意見をいただいたが、建設課では現在の建築基準法では規制はできないという見解のようである。また、都市計画課の意見としては計画区域外なので計画法での規制は及ばない。農林水産課の方では一般民有林であれ、伐採を伴う開発は届出が必要なのだが実際は届出されている事例はないという状況のようである。企画調整課の方では現在のところ、総合して考えると建設そのものを規制することはできないという考え方の方である。
- 齋藤（尚）委員 八幡にもあるということだったが、酒田市にどれくらいあるかは把握しているのか。
- 地域振興課長 他地区の状況まではわからないが、例えば規制する場合は眺海の森だけにするのか、八幡地区も一緒に規制するのか、これからの課題になると考えている。規制をする場合、条例によるのか、地権者との申し合わせで行うのかも課題となる。条例の場合は上位法がないので難しいところもある。地権者との申し合わせについても同意が得られない場合も考えられる。課題はいろいろあるが、皆さんから意見をいただいて関係課長会議の場で協議させていただきたい。
- 富樫委員 課税状況は住宅なのか。
- 市民福祉課長 そこまで確認はしていなかったが、建物から判断すると住宅のように思う。
- 富樫委員 環境衛生面についても配慮されているようなので、私としては規制する必要性はないと思う。
- 地域振興課長 規制の方がいいということであれば、行政が考えていくことになろうかと思うが、皆さん方の意見として眺海の森を売り出した方が良いのか、景観を守るために規制をかける方向に向かう方が良いのか意見をいただければありがたい。
- 小田委員 ある程度の規制は必要だと思うが、全国的に見晴らしの良いところに住宅を建てる方

向に進んでいるようである。こういう地域を目指すことを話し合うべきではないかなと思う。例えばログハウスに住んで子供も学校に通わせるということができれば地域の活性化にもつながる。

○山中会長 この件については、次回も協議したい。他に何かあるか。

○小田委員 商工会が4月1日に合併し、支所の体制が2名体制となった。まつやま会館の維持管理と従来とおりの業務をこなしていく。今までの会長が酒田ふれあい商工会の副会長に就任している。青色申告やその他の組織については3年を目処に組織のあり方について検討していくことになった。婦人部長と青年部長の2名とも松山から出ているので、地域のイベント事業について商工会に対してなお一層の支援をお願いしていきたい。

地域協議会の課題を整理したいが、どこの課にも当てはまらない課題が多くある。また、この会議を各地区公民館を会場に開催したらどうかと思う。この会議の前に市民憲章を唱和しているところもあるようなので、そのようにしたらどうか。結論は次回で結構である。

○富樫委員 歴史公園の再整備検討会ということで報告されているが、進捗状況を知りたい。歴史公園は文化伝承館を中心に、旧松山町の歴史的な物を集約した形になるが、阿部記念館の館長が文化伝承館の館長と兼務になり、来客者に説明もできない状況と聞いている。松山地域の伝統を残していこうということであれば、文化伝承館の中に阿部家の展示物を移して保存していければ、文化伝承館の価値も上がると思う。展示品を一箇所にまとめ重みを持たせた方が良いと思う。

○小田委員 歴史公園検討会の経過について、これまでの整備の経過や歴史的資料の検討を行ってきた。2回目は地域をまわって再発見・再認識をした。次回はそれを基に歴史公園の整備について文章を作成し協議をしていくということになっている。最終的な結論は今年の秋頃を目処に出していくことになっている。阿部記念館については心配している委員もいるので今後、話題にでると思う。

○齋藤（尚）委員 当初は、歴史公園内の再整備という考えでいたが、広いイメージで考えないといけないと感じた。松山をどうアピールしてどう進めていくかということを考えていきたい。地域づくりのための指導者育成をどこで行ったらよいかという問題もあり、その機能が失われつつあるのではないかと感じている。それをどうして行くかがこの地域の大きな課題だと思う。

○支所長 地域コミュニティの再生ということで概要版が県の方から資料が出ている。地域コミュニティについては、これを参考にしながら進めていきたいと私は考えている。

○地域振興課長 次回の会議を6月定例会終了後としたいので、6月下旬頃に予定したい。その際、こういうことをあげたいというものがあれば事務局にいただきたい。

7 閉会・・・進行の地域振興課長が閉会する。